

会議録（要点筆記）

会議名	令和7年度 米原市環境審議会（第2回）
開催日時	令和8年3月16日（月） 午前10時10分から午後0時5分まで
開催場所	米原市役所 4階 会議室4A
出席者および 欠席者	出席者：林宰司、須藤明子、松下京平、高田清幸、青木純一、鵜飼康治、伊夫伎博夫 横井智規、西村武、澤田隆文 欠席者：津田千恵子 事務局：（市民部）坂部長 （環境政策課）木村課長、古野課長補佐、鹿取主幹、伊賀並主事 傍聴人：0人 (敬称略)
議題	議事 (1) 令和7年度（令和6年度分）米原市環境報告書（案）について (2) 3次米原市環境基本計画の策定について
結論	・ 令和7年度（令和6年度分）米原市環境報告書（案）について審議を行った。 ・ 事務局は委員意見を踏まえ、環境報告書を作成して公表を行う。 ・ 事務局から第3次米原市環境基本計画の策定に向けて進め方を説明した。
環境政策課長	1 開会
会長	2 あいさつ
環境政策課長	3 委員紹介
	4 議事 (1) 令和7年度（令和6年度分）米原市環境報告書（案）について 【《資料1》1ページ：第2次環境基本計画の構成から5ページ：環境の概況（令和6年度）（5）分野Ⅴ「生活環境」までを事務局から説明】
会長	ただいまの事務局の説明について、御意見や御質問のある委員の方は。
委員	資料は各委員に事前配布しているので、事務局が一語一句読み上げて説明する必要があるのか。必要ないと思う。 それと、2ページに高齢化率が載っているが、何歳からが高齢化率なのか注釈を載せておいてほしい。 あと、4ページに再生可能エネルギーの発電設備の導入量があるが、この単位はkW（キロワット）でよいか。

事務局	御指摘のとおり、高齢化率の説明を記載する。 あと、再生可能エネルギーの発電設備の導入量の単位は、記載のとおり kW（キロワット）になる。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	1 ページの第 2 次環境基本計画の構成で、分野 I 「ひと」 だけ表が左側の前に出ているのは何か理由があるのか。
事務局	ひとの分野が一番大事な項目なので前に出ている。
委員	理解した。 それと、1 ページの分野 I 「ひと」 の基本方針（2）に「市民・事業者等・行政の協働の推進」とあるが、2 ページの分野 I 「ひと」 で令和 6 年度の現状や取組を説明する中で、この基本方針（2）はどの部分に該当するのか。
事務局	市民や事業者との協働で実施した令和 6 年度の取組としては、琵琶湖岸の清掃活動が該当する。
委員	そうすると、せめて市民と行政、もしくは事業者と行政が協働で実施したことが分かるような文章にした方がよいと思う。 それと、3 ページの分野 II 「自然環境」 で、2 段目から伊吹山の説明があつて、イヌワシの貴重な繁殖地であり希少な動植物の宝庫と書いていて、しかし、ニホンジカの食害が深刻化していると文章が続くが、ニホンジカによる食害が深刻化したことがイヌワシや希少な動植物にとって影響しているという部分の説明がなくてもよいのかが気になった。その説明がなくても当然という感じなのか、ほかの委員の御意見もお聞きしたい。
委員	ニホンジカの増加がイヌワシに与える影響としては、イヌワシの獲物となるノウサギなどの中小の動物をシカが食べることが稀にあるので間接的に影響しているということ、あとは、イヌワシも野生動物なので、環境に適応して、イヌワシがニホンジカを獲物にすることもある。国内でも珍しいが、伊吹山とあと一、二箇所^{つが}でシカに適用しようする番^{つが}いがいるが、そこまでの話になるとすごくマニアックな話になるので、そこまで書かなくてもいいと思う。ただ、確かに文章的には違和感はある。
委員	同様に考えます。 あと、ほかの質問になるが、3 ページでゲンジボタルのことが書かれているが、ここの発生数というのは個体数か、それとも場所数のことか。

事務局	場所数になる。
委員	発生数だけだとちょっと伝わりにくいと感じた。 それと、3ページの(3)分野Ⅲ「環境を活かす」のところの最後に、担い手育成のアプローチのひとつとして、まいばら農業塾の開催や農地の集積化、中山間地域特有の環境を生かした特産品づくりとあるが、これは今までとは違うことを指しているのか、従来から引き続きやっていることを書いているのか、どちらになるのか。
事務局	担い手育成の新たなアプローチとしてまいばら農業塾を挙げており、農地の集積化と中山間地域特有の環境を生かした特産品づくりは従来からの取組で、特産品づくりは上段の平核無柿や伊吹そば等の栽培も含んでの取組になる。
委員	理解した。 最後になるが、4ページ(4)分野Ⅳ「脱炭素・循環」で、耕作放棄地で太陽光発電に取り組んでいるということだが、米原市としてはポジティブに捉えているか、ネガティブなところは見なくてよいか。4ページに営農型太陽光発電の設置イメージの写真が載っているが、水田の中にドカンと太陽光パネルが建てられている写真を見て、再生可能エネルギーが作れるからいいと皆さんが思うのかどうか。景観的に違和感があるし、これで農業ができるのかと思ったりもするが、そういったところについてのお考えをお聞きしたい。
事務局	脱炭素地域づくり事業として耕作放棄地での営農型太陽光発電に取り組んでいるが、市としてはポジティブに捉えている。写真は通常の太陽光パネルより支柱を高くして太陽光パネルの上でもトラクターが通れるように設置しているイメージになる。現在、小泉と弥高地先で耕作放棄地の解消と太陽光発電が両立できるように取り組んでいる。景観というお話もあったが、地元自治会にも御説明しながら事業を進めている。
委員	耕作放棄地の解消と太陽光発電とどちらが主になるのか。
事務局	どちらも主ということになる。耕作放棄地だった場所で継続して農業する必要があるので、農業と発電を両立させるのはハードルの高い事業だと思っている。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	3ページ2段目の段落の最後のところで、徐々に植生が復元しつつありますとい

	う記載があるが、令和6年度にニホンジカの捕獲や金属柵を設置する取組をされているので、今の時点で復元しつつありますという表現はこれでよいのかと思うがどうか。
事務局	御指摘のとおり、令和6年度時点では植生の復元を目指して取り組みを進めているので、表現を修正する。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	3ページの分野Ⅱ「自然環境」の1段目にある米原市の森林面積の15,783haの数字は合っていると思うが、このうち国有林が約2,000ha含まれるので、今の書き方ではこの国有林も含めて米原市森林整備計画に沿って整備していくように見える。誤解が生じないように修正したほうがよいと思う。
事務局	御指摘を踏まえて表現を修正する。
委員	それと、同じく3ページに伊吹そばという記載があるが、表現として伊吹在来そばという言い方をする。昔の伊吹山で山岳修行僧が自家食用に作ったそばの原種ということアピールするために在来という言葉を入れているので訂正してほしい。
事務局	御指摘を踏まえて訂正する。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	同じく3ページの分野Ⅲ「環境を活かす」のところで、獣害問題という記載があるが、鳥獣害問題に修正しておいたほうがよい。
事務局	御指摘を踏まえて訂正する。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。 なければ、6ページから17ページまで進みたいと思います。 【6ページ：環境調査から17ページ：地中温暖化対策実行計画の取組状況までを事務局から説明】
会長	ただいまの事務局の説明について、御意見や御質問のある委員の方は。
委員	16ページの廃棄物で目標数値と比べてという記述があって、下にグラフが二つ載

	せてあるが、どちらの目標数値を目安にするとよいのか。
事務局	米原市環境基本計画の目標値としては、資源ごみを除く市民一人当たりのごみの排出量の目標値が 420g ということになるので、参考に左下のグラフに示しているが、本来は湖北広域行政事務センターの目標数値を目安にした方が一般的だと思う。
委員	市がごみ削減の役割の重さをどこまで考えるのかによると思うが、今後検討いただきたい。 それと、17 ページの市域、部門ごとの二酸化炭素排出量グラフで、滋賀県が公表しているグラフとも見比べているが、産業の排出量が高いように思う。その辺は何か要因はあるのか。
事務局	産業部門の排出量については、国の総合エネルギー統計や都道府県別エネルギー消費統計などの資料をもとに米原市の数値を出しているが、何が要因で高いという分析まではできていない。
委員	全県の割合ともずれているので分かればまた教えてほしい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	6 ページの 3 環境調査の（１）河川の水質調査で、調査した日を教えてほしい。採水時期によっては、数値の結果も変わってくると思うので。
事務局	天野川上流と天野川下流は年 2 回の調査で、1 回目の調査は令和 6 年 10 月 16 日、2 回目は令和 7 年 1 月 20 日に実施した。そのほかの 10 河川は年 1 回の調査で、令和 6 年 11 月 20 日に実施した。
委員	それと、7 ページの地下水の調査は、調査地点が旧山東の地域に偏っているように思うので、今後の調査で検討いただきたいと思う。 それと、8 ページの水質調査の採水位置図の表記が近江自治センター、伊吹自治センターになっている。この 4 月に自治センターの位置が変わるので、位置図の表記も変更された方がよいのではないかと思う。 それと、13 ページで湧水と河川の基準は違うのか。例えば河川の大腸菌数の基準は 20CFU/100ml 以下とあって、湧水の大腸菌の基準は検出されないこととなっているので、なぜ違うのか教えてほしい。 あと、地下水の調査結果の表が付いていないが、これは何か理由があるのかを教えてください。

事務局	まず、採水位置図の表記については、御指摘のとおり修正したいと思う。 次に、湧水の基準値は、地下水の水質汚濁に係る環境基準を用いているが、この基準には大腸菌の項目がないので、水道水の基準を表に米印を付けて表記している。水道水の基準では検出されないことが基準の表記になっているので、このような書き方をしている。 あと、地下水の調査結果の表が付いていないという御質問は、地下水は事業所や個人宅に協力いただき井戸水を採水しているため、公表はしていない。
委員	はい。 では、次に 16 ページの廃棄物で、市民一人当たりのごみの排出量を 16g 削減する必要がありますとあるが、皆さん重さを測ってごみ出しをやっているわけじゃないので、16g の差があるというのは分かるが、これ一人当たり約 16g の減量をする必要なんて、こういう表現はしなくてもいいと思うが。
事務局	昨年 4 月の環境審議会で、ほかの委員の方から市全体のごみの排出量だけでなく、市民一人がどれぐらいごみの減量を頑張ったらいいのか、そうことも分かるほうがよいのではないかという御意見がありましたので、今回の報告書ではそのような記載を追加させていただいた。
委員	あと、17 ページのグラフ、中の数字がグラフと重なって見えない。 あとは真ん中のグラフの単位は千 t-CO₂ で下のグラフは t-CO₂ となっているので委員の皆さんは慣れているかもしれないが、一般の人は読み替えないといけない。 それと、真ん中の市域、部門ごとの数値は、2022 年度までの数値しかない。令和 6 年度実績なので、2022 年度までの数値しかないというのはいかなものかということ。それと、2030 年度の二酸化炭素排出量が 20 万 6 千 t まで削減しなければならぬとあるが実現可能なのか。
事務局	今ほどのグラフが見にくいという点は修正させていただく。 真ん中の市域、部門ごとの数値が 2022 年までの数値しかないという御指摘は、確定した統計資料をもとに算出しているため、直近の数値ということで御理解いただきたい。それと、2030 年度の二酸化炭素排出量の削減目標が実現可能なのかという御指摘については、国では 2013 年度比で 46%削減、滋賀県では 2013 年度比で 50%削減という目標を掲げている中で、米原市も 53%削減を目標にしているので、国や県も含めて全体で取り組んでいく必要があると思っている。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。

委員	先ほどの廃棄物のところで、説明もあったと思うが、私も以前この会議で委員の方から市民の目標を入れる方がいいという意見があったように思ったので、16g 削減というのも意識して書かれたのかなと思った。 あと、ごみの減量の話で、これは過去の大量生産、大量消費があつて、今起きている環境問題をどう解決していくということが問われているのだと思う。行動変化を促していかなければいけない。ごみの減量を意識しながら生活していく、欲しいものを何でも買うのではなくて、そこで立ち止まって少し考えてみるということも提起しながら、ごみの減量化で取り組んでいることをこの報告書で見せれば十分伝わるのかなと思う。
会長	ごみを 16g 削減するために、具体的に何をしたらいいのかということを市民に分かりやすい形で啓発していくことが大事で、例えば、容器包装を減らすために、小分けしていないものを買ったら食べきれずにかえって食品残渣が出てしまうなど結構複雑なので、どういう生活を心がければいいのか、ここでの議論はちょっと難しいので、報告書はこのようにしておいて、具体的な施策や市民の方への啓発の仕方をいろいろと検討されてみてはどうかと思う。 ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	17 ページの市域、部門ごとの二酸化炭素排出量で、統計資料をもとに按分して出されているのは分かるが、米原市としても再エネ設備の導入などの取組をしていると思うので、例えばこのグラフの中のこういったところに反映されているかという、もしかすると 第3次の環境基本計画で検証される話になるのかもしれないが、米原市としてここが貢献できるということをメッセージとして書いておいてもいいのかなと感じた。これは感想になる。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	先ほどの市民一人当たりのごみの排出量を 16g 削減する必要があるという話で、目的がごみの減量になっているが、本来の目的はごみを減量することではなくて、生活改善とか脱炭素とか、そういうことになると思うので、細かいことかもしれないがこれが最終的な目的にならないようなメッセージの出し方をした方がいいと思った。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	16 ページの廃棄物で、滋賀県を含む関西は最終処分場のキャパシティが全国平均より少ないということを聞いたことがある。処理量にも関係くるのではないかと思いますので、もし統計など最終処分場の資料があれば記載しておくとか分かりやすいと思

	った。最終処分するごみの量はどうなっているか、このあたりは。
委員	湖北広域行政事務センターでは最終処分場は2箇所、米原と余呉にある。最終処分場に持っていくごみは、不燃性のごみを破碎して、細かく分けて資源ごみと燃えるごみを取り除いて最後に埋め立てするごみとして分けるので、最終処分場に持って行くごみの量は少なくなっているが、この地域は最終処分場に持って行くごみが割と多い地域なので、そういうことを知っていただくことは、いいことだと思う。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。 なければ、次に進みたいと思います。事務局の説明を求めます。 【18、19 ページ：第2次環境基本計画における指標の達成状況を事務局から説明】
会長	ただいまの事務局の説明について、御意見や御質問のある委員の方は。
委員	18 ページ、19 ページの指標で、この報告書内では触れられていない項目もあるが、まとめられるのであれば前のページの環境の概況（令和6年度）分野ⅠからⅤにまとめておいた方がよいと思う。例えば、分野Ⅲの環境保全型農業の取組面積は前のページを見ても書かれていない。
事務局	確かに、指標に対する現況が抜けている部分があるので、御指摘のとおり追記できる箇所は修正したい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。 なれば、次の（2）3次米原市環境基本計画の策定についての議題に進みます。 （2）3次米原市環境基本計画の策定について 【《資料2》3次米原市環境基本計画の策定について事務局から説明】
会長	ただいまの事務局の説明について、御意見や御質問のある委員の方は。
委員	米原市総合計画は、この環境基本計画より1年早く策定されると思うが、やはり総合計画の下位の計画になるので、総合計画で環境基本計画の根幹となる考え方をしっかりと示してもらいたい。総合計画がこう決まっているからといって、その下位計画がそのまま決まってしまうのもちょっと残念な気がするので、しっかり市役所で連携してほしい。
事務局	市役所で情報共有して取り組んでいきたい。

会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。
委員	市民アンケートを考えておられて、そのアンケートもこの環境審議会を経て行うという説明だったが、こういった形式で、何人を対象にするとかは決めているか。
事務局	具体的な調査方法はまだ決めていない。今は郵送以外にもウェブでのアンケートの方法もあるので工夫したい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方は。 なければ、本日の議事は以上になります。 事務局は、本日の意見を踏まえて、環境報告書の取りまとめをお願いします。 皆様の御協力により議事を進行できました。ありがとうございました。 これをもちまして進行を事務局にお返しします。
環境政策課長	会長ありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、市民部長から御挨拶申し上げます。
市民部長	閉会あいさつ
	以上